

## 令和元年度 第1回周南市人権教育推進協議会 会議録

【日時】令和元年5月29日（水）10時00分～12時00分

【会場】周南市役所 1階 多目的室

【出席者】委員12名（欠席8名） 教育委員会事務局他6名

### 《次第》

○委嘱状交付

○教育長挨拶

○自己紹介、職員紹介

○推進協議会長挨拶

○協議

- (1) 令和元年度周南市人権教育の推進について
- (2) 令和元年度人権推進課の事業について
- (3) 各団体の事業について（各委員より）
- (4) 質疑・その他

### 《各団体の事業について》

- 法務局では、人権擁護委員協会と常に連携して人権問題に取り組んでいる。人権侵犯に関する調査や救済、人権啓発が主な活動内容である。啓発に関しては、幼稚園、保育園、小中学校、社会福祉施設を中心に実施している。人権という難しいイメージがあるので、親しみやすいよう「人KENまもる」くん「人KENあゆみ」ちゃんといったキャラクターを利用している。また、小学校を対象に人権の花運動、中学校を対象に人権作文コンテストを実施している。特に法務省では、無戸籍者の救済にも力を入れている。現在、周南市には1人おられることを把握しているが、戸籍がないことは、生活するうえで大きな不利益を被ることとなるため、無戸籍の方がおられるという情報があれば法務局又は市役所の市民課へ連絡して欲しい。
- 地域人権教育連絡協議会では、市内10ブロック（旧新南陽・熊毛・鹿野地区の3ブロック及び旧徳山の7ブロックで構成）の地域に分かれ、それぞれの地域で、研修会を行っている。新南陽は大変広く、実際の研修は福川・和田・富田班と分れて開催している。周陽についても秋月・周陽・桜木班と分れて研修を行っている。10ブロックそれぞれに会長1名、委員は各種団体から集まり20数名、多いところは30名程度いる。事務局はほとんどが市民センター（主事）が担当している。10ブロックの半数が事務局を1年交代で行っている。実際には2年くらいで交代していくと良いと思うが、なかなか難しいようである。先週、5/22に第一回目の連絡協議会があり、各ブロックでの計画の紹介があった。来年の2月には報告会を開催予定である。ブロックの研修としては、総会と研修会であるが、研修会の内容としては講演会や音

楽の鑑賞会、ビデオ視聴会など各地域に応じて工夫されて取り組む計画を立てておられる。

- (小学校校長会) まだまだ幼い子供が多い、子供の安心安全という点で、まずは皆様に見守りをお願いしたい。安心安全な地域づくりと人権教育の推進は大きく関係していると思う。小学校では大きな変化が二つある。一つは来年度の学習指導要領の改訂である。スパンでいうと約10年に1度の改訂であり、指導計画を立て替える必要がある。もう一つは、子供の人権に関して「いじり」の問題も「いじめ」のひとつとして捉える必要があるということである。窓がわれた車を放置したらどうなるかの逸話もあるが、早期に手を打つ必要がある。子供は自己をコントロールする力が弱い、各団体の皆様が人権教育を推進されることは子供の安心安全に繋がるのでよろしくをお願いしたい。我々教員も言動には十分注意する必要があると考えている。
- 周南市社会福祉事業団は、市内で特別養護老人ホームを1箇所、軽費老人ホーム1箇所、デイサービスセンター3箇所、居宅介護支援事業所1箇所、地域包括支援センター1箇所を運営しており、150名を超える職員が在籍している。昨今、特別養護老人ホームで職員の虐待が社会問題となっている。私どもでは、運営する施設において介護保険法の施設運営基準で定める高齢者虐待防止や身体拘束廃止の施設内外における研修会や勉強会、施設内で設置した委員会を通じ、利用者の人権擁護に向けた取組みを繰り返し実施し、その徹底を図っている。また、個人レベルでメンタルヘルス不調となることを未然に防ぐ仕組みを取り入れ、心身共に健康で健全な職員による良質な介護サービスが提供できるよう本年度も昨年度に引き続き、サポートを続けている。
- 周南保護区保護司会では、年3回、山口保護観察所から担当職員にお越しいただき、研修会を実施している。また、年2回の自主研修も行っている。
- 身体障害者団体連合会では、障害者差別解消法ができ、それについて合理的な配慮ということで、さまざまな場面で気を使っていただいていることに感謝をしている。  
小さな子供さんにおいては、身体障害者へのそうした配慮を理解することは難しいのかもしれない。いじめに近い場面を目撃し、注意をしたことがかつてあった。子供の人権や安心、安全という点では、保護者と学校と地域が一緒になって取り組まなければ対応できないと思う。登下校の途中で、グループ全員の鞆を一人の子供に持たせる光景を目撃したがこともあるが、そうした子供ながらの行動も、後で思えばいじめであったのかとも思う。
- 周南市公立幼稚園長会は、市内公立の7つの幼稚園の園長で構成される。幼稚園の規模には違いがあるが、親御さんから大切な子供さん(生命)を預かって教育をしている。このため、教職員の資質向上が重要で、研修に力を入れているとともに、園全体で人権を高める教育が推進できるよう、日々、起こった出来事をお互いに話し合うようにしてい

る。

- 周南市企業職場人権教育連絡協議会は、市内83の企業や団体で構成される組織で、周南市人権行政基本方針に基づき、企業・職場の社会的責任と自覚のもとに、会員相互が連携して企業人権教育の推進を目的として活動している。

去る5月17日に総会を行い、昨年度の事業報告、決算・監査報告を行った。社員の人権意識を高めるため、様々なテーマを設定し、大学や各種団体と連携して研修会を開催しており、本年度も年4回程度を予定している。誰もが暮らしやすい地域社会づくりに向けて、多様性を認める心を養成していきたい。

- とともにSmileは、徳山・新南陽・鹿野・熊毛地区にそれぞれ会員がおり、情報を持ち寄って男女共同参画実現のためのネットワーク化を図っている。男女共同参画フォーラムを実施しているほか、会員による定期的な活動も行っている。

今後は山口県内のネットワークづくりや昨今話題となっている子供の安心安全や人権問題についても頑張っていきたい。

- 周南市中学校長会では、各学校から1名以上の参加を得て人権教育部会を設けて研修を実施している。この春から学習指導要領の改定で道徳が特別な教科となってスタートした。その中で人権教育はあらゆるところでベースとなっている。各学校における取組みは、それぞれの特色がある。本校では、子どもたちが主体的に学校生活をよくするための目標をチャレンジ目標として掲げているが、挨拶や無言清掃、整理整頓のほかにチャレンジ目標として人権感覚を掲げている。人権の標語や作文、絵画の募集も積極的に生徒に働きかけている。

また、コミュニティスクールがスタートして8年になる。地域の方の支援が増えてきた。地域のいろんな方々と生徒とのふれあいの機会が増え、これに伴い生徒の人権感覚も高まっている。

子供たちも、地域に出て行って皆さんの役に立ちたいと思っている。最近では、生徒のボランティア活動も活発化して地域貢献が進んでいると思う。

## 《質疑・応答》

(質疑) 人権教育を進めてこられた中での成果やポイントがあれば教えてほしい。

(応答) さまざまな研修会を開催しているが、多くの市民の皆様に参加していただいている。たくさんの方に人権問題に関心を持っていただき参加してもらおうこと、学習して帰っていただくことが、成果なりポイントだと考えている。

